



FARMER'S VILLAGE NOTO

第1回村民会議

2024.12.23



Farmer's Village Noto
ファーマーズビレッジ 能登



本日の目次

- 01 これまで1年間の取り組み
- 02 Farmer's Village NOTO宣言
- 03 Team Farmer's Villageメンバー紹介
- 04 Team Farmer's Villageの活動方針
- 05 “Villager”の拡大戦略
- 06 Villager向けプログラム
- 07 2025年キックオフミーティングのお知らせ



01 これまで1年間の取り組み





Farmer's Village Noto
ファーマーズビレッジのど

能登半島に地球が喜ぶ農業の
一大生産拠点を。
農業と子供の未来をつくる。



Farmer's Village NOTO これまでの歩み

2023年10月21日、あいにくの雨の中、私たちメンバーと元祖村民を交えて、珠洲市正院町と三崎町にて無事開村しました。

双方の畑には、にんじん、大根、かぶ、青梗菜、オータムポエム、ビーツ、さつまいもなどが栽培され、11月中旬あたりから個々に収穫も始まり、元祖村民と収穫を楽しみました。

10月より珠洲市に移住した松原和也が毎日、野菜の手入れを行い、元祖村民の対応なども担当しました。そして、毎週末、野々市の香土カグツチに野菜を運んでくれました。野菜たちは店頭並び、皆さんに買っていただきました。

12月に入り、翌年春以降の事業計画などを確認し合い、オーガニックコットンの栽培や珠洲でのオリーブ栽培、そして、生物多様性を意識したビオトープづくりなど野菜作りとは別の事業展開も進めることにしました。



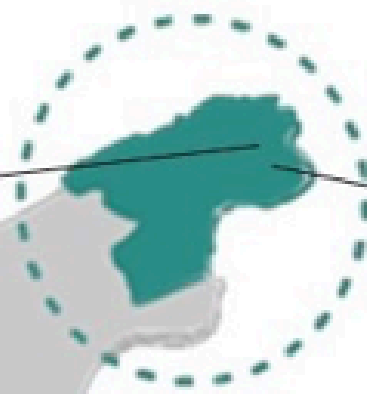
Farmer's Village NOTO これまでの歩み



三崎町
50a

Farmer's Village NOTOは
珠洲市からスタート。
2023年10月21日開村

石川県



正院町
80a



Farmer's Village NOTO これまでの歩み

2024年1月1日16:10頃
能登半島地震発生



Farmer's Village NOTO これまでの歩み

2024年1月4日
一路珠洲へ



Farmer's Village NOTO これまでの歩み



Farmer's Village NOTO これまでの歩み

私たちは、拠点を失いました。



Farmer's Village NOTO これまでの歩み

2024/1/4、松原和也と二人で珠洲に出向きました。
朝8時に野々市の香土カグツチを出て、珠洲市正院町川尻の現場に着いたのは16:30過ぎ。

どの道もガタガタで多くの車がノロノロ運転をしているためです。
すぐに暗くなったので、わずか30分足らずで現場を確認し、近くの小学校に避難している皆さまにわずかばかりの支援品を届けて、帰路につきましたが、野々市に戻ったのは深夜0:30過ぎでした。

未曾有の災害に能登半島は見舞われました。

断水、停電、通行止めなど、普段の生活では到底考えられない事態です。
元祖村民の皆さまをはじめ、私たちのプロジェクトにご支援いただいている皆さまには大変申し訳なく心苦し以上今日でしたが、松原を野々市に戻し、野々市で畑を借り受けて、当面は農作業を続行することにしました。

幸い珠洲市正院町の畑とハウスは大丈夫な状態でした。

三崎町の畑は地主さんの話ではほぼ大丈夫なようですが、同様に納屋は倒壊しています。
地域の復興の進捗に合わせ「みんなの畑」は珠洲にて再開したいと思います。
復興の状況は刻一刻と変化します！1日も早い復興を目指し、私たちは私たちができることをします。

Farmer's Village NOTOは何も諦めません！現状を受け入れつつ、前へ前へ進む所存です。
是非とも、能登半島のために、食を守るためにお力添えをお願いいたします。



Farmer's Village NOTO これまでの歩み

1/10より珠洲市正院町飯塚の避難所への炊出しが始める。

シェフのチームを編成し、当番制で。
ボランティアスタッフを募集。



Farmer's Village NOTO これまでの歩み



東京新聞朝刊
2/6 フロントページ



Farmer's Village NOTO これまでの歩み

まずは今年一年、野々市市に畑を借りて営農



香土カグツチから徒歩3分



Farmer's Village NOTO これまでの歩み

4月より、NTTデータ経営研究所の江井さんのチームとFarmer's Village NOTO再構築に向けたオンライン会議が始まりました。



6月 能登島でのオリーブ定植



6月 珠洲市三崎町にてオーガニックコットンの定植



Farmer's Village NOTO これまでの歩み

野々市での日々の営農活動と元祖村民との交流



02 Farmer's Village NOTO宣言





•私たちFarmers Village NOTOの目標は、2030年末までに、能登半島に200ha規模の農薬や化学肥料を使わない野菜、穀類、果樹などと畜産の一大生産拠点を作ることです。生産した野菜などは、子どもたちに食べてもらうために学校給食への供給を行います。

•能登半島に農産物生産の広大な圃場を確保し、農薬に頼らない農法で若手農家の移住を図り、県内随一の生産拠点を作ります。日々生産される農産物はトラックにて金沢などに輸送し、学校給食などの食材として一括供給し、農家の所得安定を図ります。そして、それ以外の農産物は個々の農家の力量で生活者へ直販します。

•生産に必要な機械の貸出や集出荷場などをシェアし、日々の生産・調製・出荷を行い、週末には農家揃ってその場でマルシェなどを実施し、生活者との交流も行います。

•また、この構想を実現するためには、食をつくりだす“地域”と食の一大消費地である“大都市圏”を結び、ひととひと、情報と情報とが結びつく機会を創出していくことが重要です。私たちは石川と東京がつながる仕組みをつくり、多様な関わり方が選択できる場を用意します。

•そして今、私たちはFarmers Village NOTOを立ち上げるためのコミュニティとして、“Team Farmers Village NOTO”を新たに立ち上げ、共に構想を実現する仲間“Villager (ヴィレジャー)”を募集します。





•わたしたち“Team Farmer's Village NOTO”は、農、食、能登・石川、子どもたちの「未来をつくる」観点から、農家と生活者の活動を繋ぐ、支える、生み出す、みんなで作るための様々なプログラムを立ち上げます。
“Team Farmer's Village NOTO”は共創するコミュニティとして、Villagerのみなさんと共にプログラムを考え、共に実行します。

1

繋ぐ

•あたらしい場所・あたらしいつながり・新しい流通・農地とひと・農家とひとなど

2

支える

•農業のしかた・情報発信のしかた・お金の稼ぎ方・農業機械のシェアなど

3

生み出す

•自然のある体験・野菜・人生の楽しみ方など

4

みんなで作る

•参加者みんなが主役・自発的にアクションする仕組みなど



03 Team Farmer's Villageメンバー紹介



それぞれが石川・東京をベースとしてFarmer's Villageのプログラム作りに取り組んでいます。

ISHIKAWA

TOKYO



洲崎 邦郎



濱村 晃司



江井 仙佳



高橋 みづき



宮川 智志



前田 ゆかり



04 Team Farmer's Village活動方針



Farmer's Village NOTOの構想実現に向けて、 Villager向けイベント・プログラムを定期的 to開催します



1

第1回村民会議を開催する（本日）

「Farmer's Village NOTO 宣言」について、理解と共感を育む

2

2025年1月以降、石川と東京とでキックオフを実施する

- ①Farmer's Village NOTO キックオフ@石川
- ②Farmer's Village NOTO キックオフ@東京

3

2025年2月以降、定期的にVillagerイベントを開催する

- ①香土@石川 メンバー会議 ②香土@東京 メンバー会議
- ③3か月に一度程度 オンライン会議 ④年に一度村民会議

4

Villagerが参加できる無料プログラムを準備する

例：①珠洲ファーム再建プログラム ②香土イベントプログラ（野々市）の企画、参加 ③香土@TOKYOコミュニティの企画、参加～あなたの理想の八百屋をつくろう～ ④商品共同開発 ⑤農業体験

5

Villagerが参加できる有料プログラムを準備する

例：①野菜定期便 ②エコツアー ③人材育成・教育プログラム
④オーダーメイド野菜生産 ⑥新規就農マッチング ⑦田んぼ・畑オーナー制度



05 Villagerの拡大戦略



Villagerの“輪”を広げるため、1年間で仲間を「365人」
に増やしますぜひご協力をお願いします



最初の半年

- 元祖村民からの声掛け
元祖村民30人+元祖村民ごとに2名×30人=90人
- 香土ファン 30人
- 東京香土ファン 100人

合計 220人

後半の半年

- 元祖村民からの声掛け
90人からの倍増=180人
- 香土ファン 30人×1.2=35人
- 東京香土ファン 100人×1.5=150人

合計 365人



06 Villager向けプログラム





ビレジャー(村民)向けコミュニケーションプログラムとは…

- ・今回募集するビレジャー(定員365名/含む元祖村民)に対するサービス内容として、

Key
Word

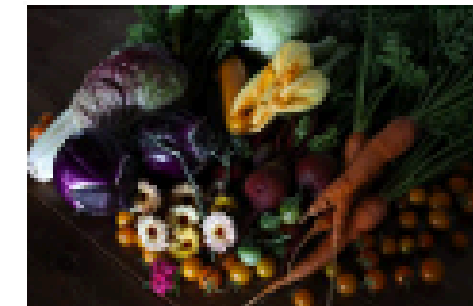
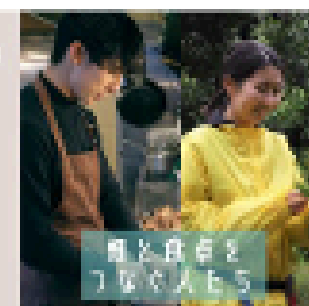
- 1.考える農業
- 2.動く農業
- 3.健康になる農業



石川県内・東京両方で
プログラムを展開します。



5/18 20:00~21:00
オンライン農話
ゲスト
森田さん(元祖村民)
5/20(土)19:00~20:00
1日体験型アグリフェスタ
参加費無料
5/21(日)10:00~12:00
アグリフェスタ
参加費無料





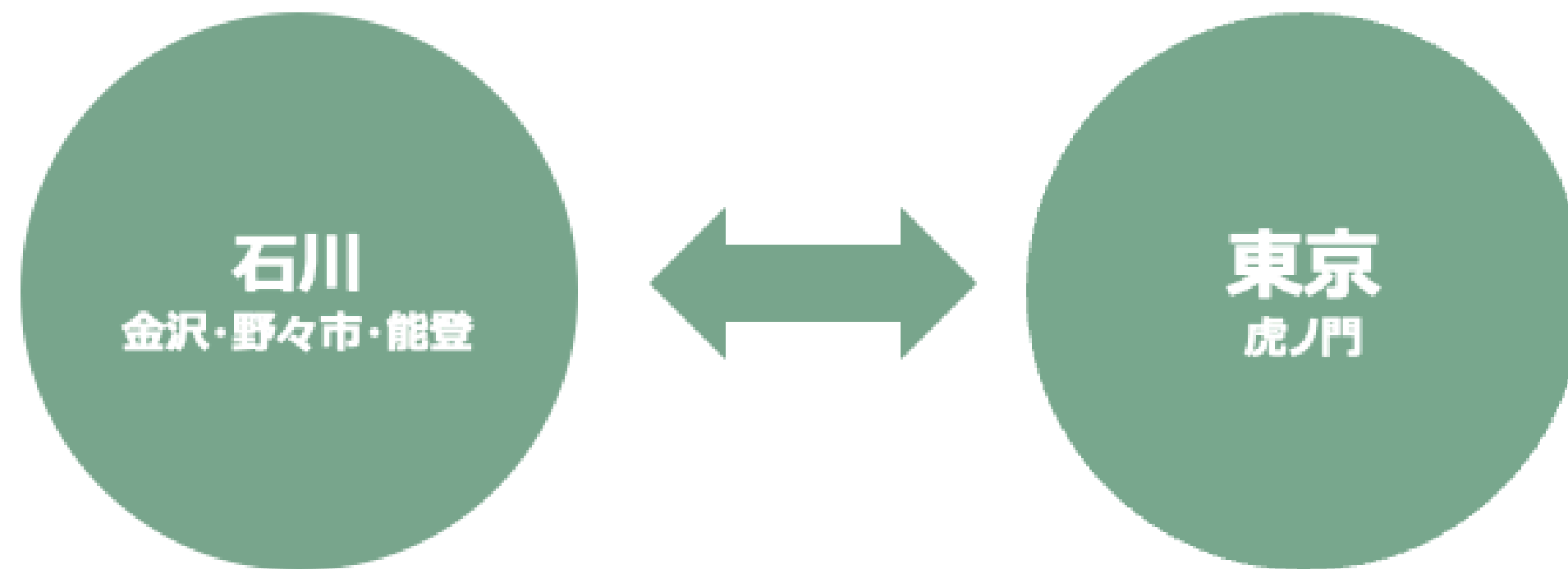
具体的なプログラム 石川チーム発

1. Faemer's Village NOTO + 香土@石川

- ①どうするVillage ...
 - ・ 珠洲市などの農地の活用を検討する
 - ・ 運営全般を共に考える※特に東京と連携
- ②Villageで農作業 ...
 - ・ 野々市ほ場にて日々の農作業に加わる
(好きなタイミングで好きな時間に)
- ③Villageを食す ...
 - ・ 野菜定期便に登録し、毎月野菜を食す
 - ・ 食の処方箋プログラムに参加する
(オンライン、リアルが選べる)



「みんなの八百屋“香土 カグツチ”」をバーチャルに開店し、
石川と東京を結ぶプログラムを実施します



「みんなの八百屋”香土 カグツチ”」をバーチャルに開店し、石川と東京を結ぶプログラムを実施します



- 私たちは、八百屋を「サステナブルな食のすばらしさを再編集し、クリエイティブに伝え、地域を活性化するための拠点」として再定義します。
- ニッポン全体の活性化を加速化するためには、食をつくりだす”地方”と食の一大消費地である”大都市圏”と結び、ひととひと、情報と情報が結びつく機会を創出していくことが重要です。
- 自然や大地とのつながりを感じることは、「環境」に対する感受性を育み、共生型の未来をつくる起点ともなります。一方、東京の都心部では、こうした機会を得ることは容易ではありません。
- 私たちは、金沢・野々市、能登とを結びながら、野菜を売ることを目的としない八百屋”香土 カグツチ”を東京の虎ノ門でバーチャルに開店し、「サステナブルな食の未来」と「ウェルビーイングな毎日の暮らし」、「能登の復興・地方創生」につながる活動を行います。



これからVillagerの皆さんと一緒に、東京発のプログラムを考え、実行していきます

プログラム①食のすばらしさの再編集+Organicの視点を持ちながら、私たちの普段の暮らしをもっと心地よく楽しくする食の魅力を生みだします

- ソーシャルガストロノミー®のコンセプト開発
- 食の魅力と新たな創造についてのレクチャー
- 「オーガニック×伝統野菜」など、独自食材の企画、生産、加工、商品開発
- オーガニック野菜のオーダーメイド

プログラム②クリエイティブなコミュニケーション
おどろきや感動を各種メディアを通じて伝えます

- CN各種メディアに対するコンテンツ提供
- 旬刊ZINE「Kagutsuchi@虎ノ門」
- オーガニックマルシェへの参加、シネマなど

プログラム③地域の活性化
東京の私たちも、能登・石川ももっと楽しく豊かになる、復興する

- Company supported Farmによるオーガニック農業生産の拡大
- 能登・石川オーガニックツーリズム
- 企業版ふるさと納税など



まずは、能登・石川でいち早く安心して農業ができるように、企業やグループを対象とした支援プログラム作りに取り組みます

農地の借り上げ、事前予約購買、契約栽培等のメニュー作り

ふるさと納税・企業版ふるさと納税を活用した仕組みづくり

能登・石川の豊かな食や農を体験できるオーガニックツアーの企画



07 2025年キックオフミーティングのお知らせ



年明けに石川・東京でキックオフミーティング・イベントを実施します。当日のご参加&仲間集めへのご協力、よろしくお願ひします！



石川県・野々市市

1月中旬～下旬

Farmer's Village NOTO in
石川キックオフミーティング

東京都・虎ノ門

1月中旬

Farmer's Village NOTO in
東京キックオフミーティング





THANK YOU



Farmer's Village Noto
ファーマーズビレッジ 野々